

## 8-4-5 公益活動WG

### 1. 設置目的と組織

#### (1) 公益活動WGの設置目的

本WGは、建設コンサルタント会員全般の技術力向上と公益活動を目的として、以下の方策に取り組んでいる。

- a) 本省・国総研・土研と建コン協との技術的連携・協議事項に関する窓口機能
- b) コンサルタント相互の技術支援制度の創設
- c) 発注者からの技術相談窓口の設置
- d) 国総研・土研との分野別実務者レベルの意見交換会の開催
- e) 本部・支部活動成果（技術資料）の共有ならびに発注者への配布
- f) その他 会員相互および公益に関する活動

#### (2) 組織

令和元年5月組織改編に伴い、統括技術委員会副委員長代表4名から構成される組織となった。

（従前は技術委員会より副委員長計3名、道路構造物、道路、河川計画、河川構造物の各専門委員会より各1名、広報委員会より1名、マネジメントシステム委員会より2名の合計10名の委員で構成）。活動が道路および道路構造物に関する技術的事項に限定されているため、現時点では組織を縮小し、課題に関係する委員のみで構成されている。また、事務局はインフラ研が担当している。

### 2. 活動記録

本WGは、本省国道・技術課、技術調査課、国総研・土研の道路・橋梁担当者及び研究者と建コン協との窓口としての活動が主である。委員自ら実施することの他に、改定道路橋示方書連絡WG、道路橋技術相談窓口対応WG、道路構造物専門委員会と連携して活動している。

(1) 実績報告:令和2年度の公益活動WGの主たる活動は、国総研との共同研究の体制構築と研究の実施である。本年度、参画した国総研との共同研究は、以下の2題である。

- a) 既設道路橋群の維持管理計画の継続的改善に関する共同研究(以下 維持管理計画)

本研究体制は研究責任者の下、道路性能評価手法、将来推計手法の統一、法定点検の解釈基準の統一の3つのWGから成り立っており、それぞれ各WG長を中心に研究活動を行っている。なお、本研究は、国総研の他、京都大学、大阪大学、京都府、茨城県との共同の下で実施されている。

b) 道路橋の性能評価技術に関する共同研究(以下 性能評価)

本研究は、性能評価手法に関する研究であり、国総研、日本橋梁建設協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会、日本建設業連合会との共同研究である。

また、例年行われている国総研との実務者意見交換会についても、改定道路橋示方書連絡WGおよび道路橋技術相談窓口WGと連携して開催した。

#### (2) 活動経歴

a) 共同研究（維持管理計画）活動経歴

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 7月29日  | 第2回全体会議          |
| 10月23日 | 第3回全体会議          |
| 11月25日 | 道路ネットワーク 国総研 打合せ |
| 11月27日 | 道路ネットワーク 国総研 打合せ |
| 12月11日 | 第4回全体会議          |
| 1月20日  | 道路ネットワーク 国総研 打合せ |
| 1月29日  | 第5回全体会議          |
| 3月10日  | 第6回全体会議          |

b) 共同研究（性能評価）活動経歴

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 8月4日   | 第1回全体会議           |
| 8月27日  | 公益活動WG            |
| 9月14日  | 打合せ 国総研           |
| 10月23日 | 第2回全体会議           |
| 10月27日 | 国総研・建コン 個別会議      |
| 12月4日  | 国総研・建コン 個別打合せ     |
| 12月23日 | 国総研・日建連・建コン合同打合せ  |
| 2月4日   | 国総研・PC建協・建コン個別打合せ |

c) その他

- |       |               |
|-------|---------------|
| 9月18日 | 国総研実務者意見交換会開催 |
|-------|---------------|

改定道路橋示方書連絡WGと共催にて、国総研と道路橋示方書改定に伴う国総研・建コン双方の活動状況並びに意見交換を行った。

(公益活動WGWG長 鈴木 泰之)